

言語文化学部・国際社会学部・国際日本学部
2024年度前期日程入学試験問題
地理歴史（世界史）
正解・配点・解答例（100点満点）

1〔60点〕

- 問1 ヤルタ会談〔5点〕
- 問2 李承晩〔5点〕
- 問3 トルーマン=ドクトリン〔5点〕
- 問4 労働党〔5点〕
- 問5 平和五原則〔5点〕
- 問6 阮朝〔5点〕
- 問7 北緯17度線〔5点〕
- 問8 東南アジア条約機構〔5点〕
- 問9 〔20点〕

【解答例】

米ソによって分割占領された朝鮮は38度線を境に南北に分断された。この状態を克服するために南北協商など統一国家樹立への努力がなされ、南北の政党・社会団体も共同声明を通して単独選挙の実施に反対したにもかかわらず、米国の主導で南朝鮮単独選挙が実施された結果、朝鮮では南北に二つの政府が樹立された。1950年に勃発した朝鮮戦争はこのような南北の分断を解消し統一を目指すものであったが、米国はこれを共産主義による侵略と規定し、韓国に派兵するだけでなく他のアジア地域へも軍事援助を進め、インドシナ戦争へも介入していった。しかしこのような米国の動きは植民地から独立したインドのような国の人々には植民地主義を支持するものと捉えられ、中国もアジアにおける米国の干渉を強く批判した。このような流れのなか、アジア=アフリカ会議の開催にみられるようにアジア地域で米ソのどちら側にも属さない非同盟諸国の動きが活発化することとなった。（400字）

2〔40点〕

- 問1 エンコミエンダ制〔5点〕
- 問2 第二次産業革命〔5点〕
- 問3 ゲルニカ〔5点〕
- 問4 シュトレゼマン〔5点〕
- 問5 コッホ〔5点〕
- 問6 世界資本主義のリスク再配分〔10点〕
- 問7 (d) → (a) → (c) → (b)〔5点〕